



武力は悲劇しか生まない 北東アジアに非核・軍縮の仕組みを

2011 **2.26** (土)

午後1時半～4時半
(1時15分開場)

会場 日本青年館 501会議室

世界的な核軍縮の気運の高まりが見られる一方、依然として軍事力で安全を担保しようとする武力崇拜が繰り返されています。私たちの住む北東アジアは、それがもっとも先鋭化した地域の一つです。不信と対立のサイクルから抜け出すための、協調と対話による「平和のビジョン」が今ほど求められているときはありません。

韓国哨戒艦「天安(チョナン)」沈没事件、延坪島(ヨンピョンド)砲撃事態、北朝鮮のウラン濃縮開始など、緊張が高まった2010年の北東アジア情勢を共有し、軍事力によらない安全保障の仕組みを作るために、市民社会が取り組むべき課題について議論を深めます。北東アジア非核兵器地帯の推進は有効な目標であり続けていますが、新しい情勢の中での一層の創意が求められています。

プログラム

第1部: 北東アジアのいま

特別講演: 「韓国ジャーナリストの視点から」

金 孝淳 (キム・ヒョスン/ハンギョレ新聞 大記者)

「北朝鮮核計画の新段階と私たち」

梅林 宏道 (ピースデポ特別顧問)

「『核の傘』を考える」

犬塚 直史 (元参議院議員)

第2部: 北東アジアの非核・軍縮の仕組みへの 市民社会の役割 (パネルディスカッション)

【コーディネーター】小笠原 公子 (ピースデポ理事)

金 孝淳 (ハンギョレ新聞 大記者)

犬塚 直史 (元参議院議員)

村越 進 (日本弁護士連合会 憲法委員会委員長)

高久 はるか (明治学院大学 学生団体「Peace☆Ring」副代表)

田巻 一彦 (ピースデポ副代表)



キム・ヒョスン

東洋通信(連合通信の前身)、京郷新聞をへて1988年ハンギョレ新聞の創刊に参加。主に政治部と国際部に勤務、1992年から3年間東京特派員。その後、国際部長、社会部長、政治部長、編集局長、編集人など歴任。

2007年から取材の現場に戻り、大記者として企画記事、コラムなどを書く。昨年は強制併合百年を迎えて長期企画を担当。会社外の活動として、独裁政権時代の過去事にどう向き合うべきかを主な課題とする市民団体「真実と正義」の共同代表。

ソウル大学政治学科卒。著書に「近い国、知らない国」(1996)、「私は日本軍、人民軍、国軍であった」(2009)

資料代 (一般) 1000円 / (学生) 500円
(事前申し込み不要)

お問い合わせ NPO法人ピースデポ

TEL: 045(563)5101 FAX: 045(563)9907
メール: office@peacedepot.org
ホームページ: www.peacedepot.org

ピースデポ第12回総会のご案内

翌2月27日(日)にピースデポ総会を開催します。

どなたでも参加できます。

恵比寿スバルビル402会議室
10時～13時 (9時45分受付開始)

JR恵比寿駅東口から徒歩3分
東京都渋谷区恵比寿1-20-8

